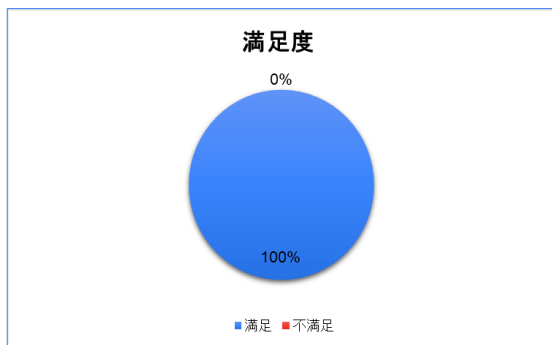
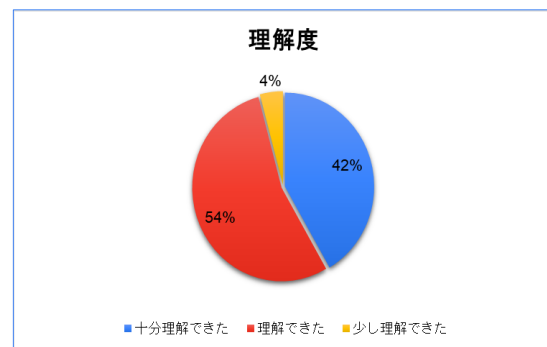
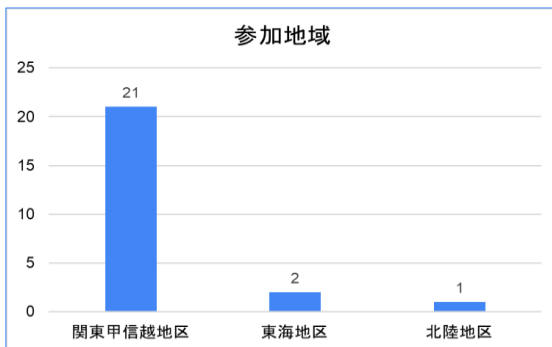
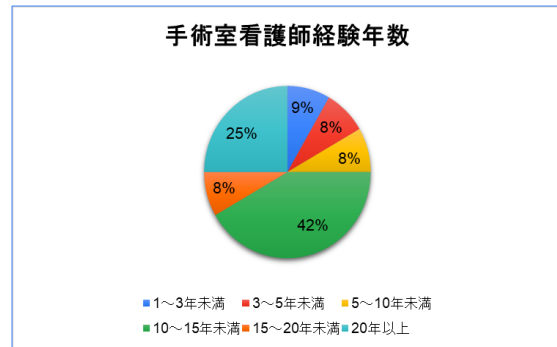
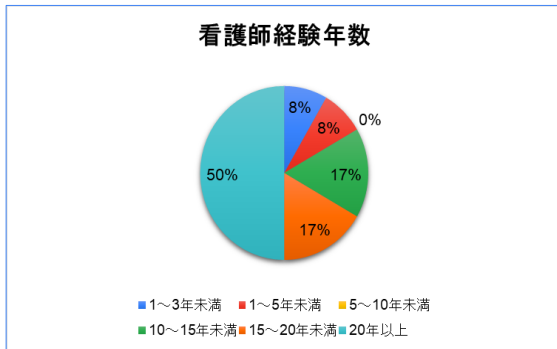


2023. 2. 18 「周術期における看護倫理」 アンケート結果

参加者:31名
アンケート回答:24名 回収率:77%



<満足理由>

- ・倫理上の問題をどのように考えていけばよいのか参考になった。(意見多数)
- ・自身では気が付きにくい倫理観を考えることができた
- ・倫理という形のないものを理解し言葉にしてチームに表現し共有できると思います。
- ・手術室での倫理に対する考え方を学ぶことができた
- ・日々感じていた倫理問題を自分なりに処理する方法論を具体的な法則を用いて解説されていて非常にわかりやすかった。
- ・手術室に特化した倫理の勉強会はなかなか参加する機会がなかった。今回、普段の倫理的問題に対して手術室看護師が置かれている現状を言語していただき説明していただいたことで、普段感覚的にしか感じていなかった事がより理解できたと思う。コーゼーションやエフェクチュエーションについては、完全に理解できていないため続けて学んでいく必要性を感じた。
- ・施設内の倫理委員に所属し自部署の倫理課題を考えるうえで 臨床とは違った手術室での倫理問題のとらえ方、考え方の基本を知ることができ大変参考になりました
- ・周術期における看護倫理に関して、手術室看護師としての立場や日頃抱えているモヤモヤを改めて認識することができました。また、倫理的風土の醸成に関する質問にもお答えいただき、とてもありがたかったです。自身の課題や自部署でやりたいことが少し見えたので、今回の学びを職場で活かしたいと思います。貴重なご講義、ありがとうございました。
- ・「倫理」と聞くだけで難しく拒否反応がでてしまうが、「普段のモヤモヤをスタッフと話す」「こうあるべき」などからコミュニケーションをとることで、解決ができることがわかりました。倫理的感受性を高めるためにもモヤモヤが生じたとき、スタッフに問いかけてみようと思いました。角田先生の講義はわかりやすかったですし、聞きやすかったです。ありがとうございました。
- ・日々(仕事含め)Askingをすることを自分の行動に取り込み、コミュニケーションをしっかりと図っていこうと思います。